

新基地建設反対名護共同センターニュース

広島から友情と連帯の船が寄贈さる



終戦記念日の15日、広島県福山民主商工会から辺野古に新監視船「ウマンチュ」が寄贈され、名護市汀間川河口で進水のついでが行われ、ヘリ基地反対協議会や地元の新名善治汀間区長など約20人が参加しました(写真左)。贈呈を受けた抗議船平和丸の船長で沖縄県商工団体連合会会長の仲本興真さんは「8月15日という日に被爆地・広島から新基地建設反対の闘いの先頭に立つ辺野古に友情と連帯の貴重な船が送られたことはとても意義のあることです。この新しい船を力にして、新基地建設の阻止をめざして頑張っていきたいと思います」と話していました。「集い」では船と船長の無事を願って日本酒とシャンパンなどを振りかけ、一斉にクラッカーを鳴らして安全を祈願しました。

新監視船を力に新基地反対運動の前進を
「ウマンチュ」進水の集いで誓いあう

発見！ワッター海の自然 大浦湾の生き物たち 写真展



名護市東江の名護博物館「ギャラリ」で「大浦湾の生き物たち」の展示会が8月27日まで開催されています。大浦湾の貝類など動植物が所狭しと展示され感動的です。子どもも夏休みの宿題にも役に立ちそうです。月曜は休館。入場無料です。

「新基地の現状を訴え」総勢21人の第2次訪米団出発



訪米前に決意を交流するオール沖縄会議の第2次訪米団のメンバー＝16日、那覇空港にて

オール沖縄会議の第2次訪米団(21人)が16日、沖縄の現状を米国民に訴えるために沖縄を出発しました。出発式でオール沖縄会議の呉屋守将共同代表(金秀グループ会長)は、日本の平和と民主主義を守るためにも今こそ頑張ることが大事」と激励しました。団長の伊波洋一参院議員は「戦後72年も米軍のために虐げられ続ける沖縄の現状をしっかりと訴えて来ます」と決意を述べました。訪米団は17～22日の間、カルフォルニア州のアメリカ人労働組合連合(APALA)の25周年大会に参加するほか、国連理事会特別報告者のデビット・ケイ氏や米会員議員などと意見交換するなど予定しています。日本共産党の比嘉みずき、瀬長美佐雄両県議も訪米団に加わりました。

ネット上で替え歌「ABE IS OVER」が大評判

いまネット上で「ABE IS OVER」の替え歌が大評判です。原曲は伊藤薫氏作詞・作曲で欧陽菲菲さんが歌ったヒット曲「ラヴ・イズ・オーヴァー」です。ハギやんが作り、自ら歌い背景の写真やイラストなどとマッチして多くの視聴者の心をとらえています。詞を紹介します。

ABE IS OVER 遅すぎたけど 終わりにしよう
きりがいいから
ABE IS OVER 訳などないよ ただ一つ 日本のため
ABE IS OVER 悪い過ちと笑って言える ときが来る
ABE IS OVER 泣くな無様だろう 憲法のこと
早く忘れて 私は あんたを忘れはしない
誰に代わっても忘れはしない
きっと 最後のフアシストと刻むから

ABE IS OVER 私はあんたのとどめを刺すよ
ぐっと心に ABE IS OVER 最後の一つ 国民騙し
ちゃいけないよ 下手な答弁で ごまかさないと
本当のことを早くしゃべって
きっとあんなに お似合いの墓がある
ABE IS OVER うれしいよ 早く出てって
振り向かないで ABE IS OVER
さよならしてね ABE IS OVER

